

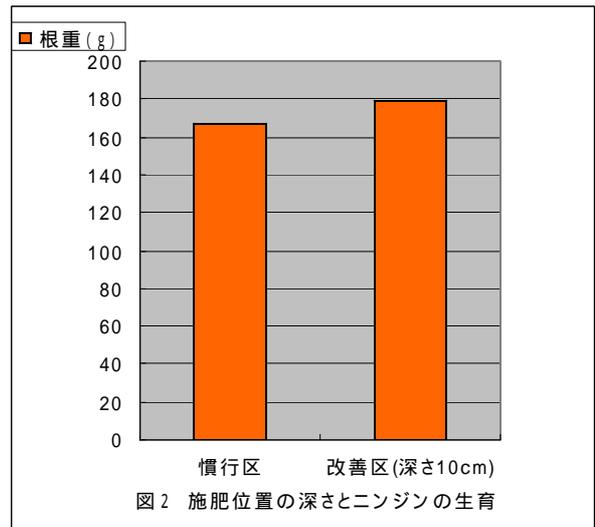
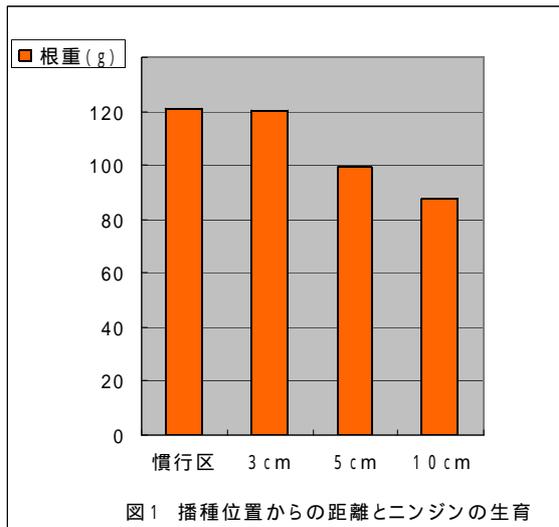
# 特産野菜の環境保全型省力生産技術の開発 (ニンジンの局所施肥技術の開発)

ニンジン栽培において、緩効性肥料を利用し、施肥位置を改善することにより、慣行の施肥量の30%を削減しても同等の収量が得られました。

さらに、この局所施肥技術を行うための簡易な歩行型施肥同時播種機を試作し、ニンジンの施肥及び播種作業が省力化されました。

## 1 局所施肥による施肥量削減技術

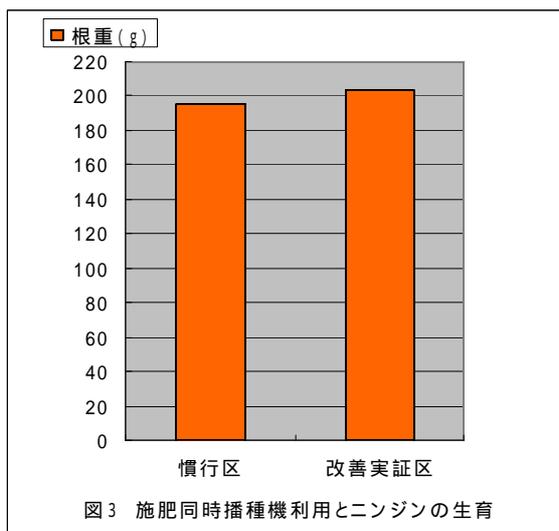
緩効性肥料(LSP)を播種位置から3cm、地表から深さ10cmに局所施肥することにより慣行施肥より30%削減しても同等の収量が得られました。



## 2 歩行型

### 施肥同時播種機の試作と現地実証

緩効性肥料を局所施肥するための歩行型施肥同時播種機を試作し、現地においてニンジンの施肥及び播種作業の省力化が実証されました。



試作した歩行型施肥同時播種機